

縁結び課

1 三木創生の推進

人口減少に歯止めをかけ、まちの将来の展望を拓くため、令和2年度は、「第2期三木市創生計画 三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略」について、第1期に引き続き推進及び検証を進めている。

(1) 三木市創生計画策定検証委員会の開催

産・官・学・金・労・言・士（産業団体・官公庁・大学・金融機関・労働団体・マスメディア・士業）の各界と市民が委員として参画する三木市創生計画策定検証委員会を開催し、三木創生で取り組む施策による効果を検証した。また、新型コロナウイルス感染症拡大に対応すべく三木市創生計画策定検証委員会設置要綱を改正し、オンライン会議システムを使用した会議への出席も可能とした。

ア 第1回三木市創生計画策定検証委員会

- ア 開催日 令和2年8月25日
- イ 内容 第1期三木市創生計画の検証等

イ 第2回三木市創生計画策定検証委員会

- ア 開催日 令和3年2月8日
- イ 内容 第2期三木市創生計画第2版への改定等

(2) 第2期創生計画の改定

地方創生関連交付金事業の活用など国の新たな動きや、市として創生計画を進めるなかで生じた事業の方向性の変更などを踏まえ、「三木市創生計画 人口ビジョン・総合戦略」を改定した。

- ア 改定日 令和2年3月31日
- イ 計画の期間 令和2年度～令和6年度

(3) 連携による事業

地方創生の推進に向け、地域資源を活用した様々な取組を加速するため、官公庁、民間事業者等と連携し、相互のノウハウ、ネットワークなどを活用することで市の活性化に取り組んだ。

ア 大和ハウス工業株式会社

令和2年2月に連携協定を締結し、本市の郊外型戸建住宅団地が抱える高齢化や、空き家などの様々な課題を解決する先行モデルとして、先進技術などを活用し、将来にわたりまちの活力を保ち続ける仕組みを導入した「多世代の住民が快適で永続的に循環しながら住み続けられるまち」づくりをめざす。

- ア 該当地区役員説明会、市政懇談会及び住民説明会にて、青山7丁目整備イメージ案について説明した。

- 令和2年11月17日 青山地区役員説明会
- 令和2年11月22日 青山地区市政懇談会
- 令和2年12月20日 青山地区住民説明会
- 令和3年1月17日 青山地区役員意見交換会

- イ 関係課との調整を行い、事業の方向性について説明した。

- 令和3年1月9日 緑が丘地区住民説明会（デイサービスセンターの移転等）
- 令和3年2月3日 三木市都市計画審議会（青山7丁目の開発に係る用途変更案提示）
- 令和3年3月23日 サウンディング調査説明会開催（特別養護老人ホーム、デイサービスセンター）

イ 株式会社官民連携事業研究所

令和元年9月に連携協定を締結し、本市の地方創生に係る公民連携事業を実施した。

- ア 株式会社トラストバンク

- a 期間 令和2年5月～令和3年3月末
- b 内容 テレワークに対応するため、株式会社トラストバンクが提供する、LGWAN環境で利用できるチャットシステム「LoGo チャット」を無償で試験導入した。

- イ 合同会社シスコシステムズ

- a 期間 令和2年5月～令和3年3月末
- b 内容 オンライン会議に使用する端末を合同会社シスコシステムズから無償貸与を受けた。

(ウ) 株式会社オーディオストック

- a 期間 令和2年6月～（継続中）
- b 内容 コロナ禍における地域資源の新たな情報発信「Sounds of JAPAN」により、音を活用した情報発信を開始した。

ウ 三木市ゴルフツーリズム連携支援計画の策定

三木市を中心とした産・官・学・金の各界から6つの支援機関が連携し、地域資源であるゴルフを核としたインバウンドゴルフツーリズムを推進するとともに、ゴルフ産業の担い手育成や先端技術を活用して生産性向上に取り組む事業を支援するための計画を策定し、令和2年6月28日に経済産業省から認定を受けた。

エ 近畿経済産業局地域ブランド展開支援室との協働について

令和2年10月に近畿経済産業局地域ブランド展開支援室が進める地域ブランドエコシステム構想に係る10のモデル地域に選定された。専門家によるブランド会議を行い、現状分析、課題抽出に加え、マーケット実証に伴う酒米山田錦のPR動画製作を行った。また、他地域や民間事業者、金融機関が集い、意見交換を行う地域ブランドネットワークサロン会議に参画し、新たなネットワーク構築に努めた。

(ア) 地域ブランド展開支援室ブランド会議

- a 第1回ブランド会議
 - (a) 開催日 令和2年11月27日
 - (b) 内 容 課題抽出・ゴールイメージの共有
- b 第2回ブランド会議
 - (a) 開催日 令和3年1月21日
 - (b) 内 容 マーケット事業内容検討
- c 第3回ブランド会議
 - (a) 開催日 令和3年3月11日
 - (b) 内 容 マーケット事業実施、アクションプランの作成

(イ) 近畿経済産業局主催地域ブランドネットワークサロン会議

- a 第1回地域ブランドネットワークサロン会議
 - (a) 開催日 令和3年2月10日
 - (b) 内 容 知財セミナー、異業種交流
- b 第2回地域ブランドネットワークサロン会議
 - (a) 開催日 令和3年3月9日
 - (b) 内 容 事業者講演、各市取組事例紹介（三木市の取組内容を説明）

(4) 三木若者ミーティングの開催

市の施策、事業などに若者の意見を取り入れ、三木市をさらに魅力のあるまちとするため、若者の意見を聴取するイベント「三木若者ミーティング」を、全2回にわたって開催した。

ア テーマ 旧市街地の地域資源を活かしたまちづくり

イ 参加校 関西国際大学、三木高等学校、三木東高等学校、三木北高等学校、吉川高等学校、神戸星城高等学校

ウ 開催概要

(ア) 第1回

- a 開催日 令和2年11月14日
- b 内 容 オリエンテーション（リモート形式で開催）
- c 参加人数 35人

(イ) 第2回

- a 開催日 令和2年11月21日
- b 内 容 グループワーク及び発表（対面形式で開催）
- c 参加人数 37人

(5) 企業版ふるさと納税に係る取組

令和2年8月21日に認定された地域再生計画「三木市まち・ひと・しごと創生推進事業」に記載されている事業に対する、市外企業からの寄附を募りました。

ア 寄附件数	1 件
イ 寄 附 額	1,000 千円
ウ 事業者名	株式会社ウォーターエージェンシー
エ 寄附目的	三木市循環型社会創造事業の推進

2 インバウンド戦略の推進

訪日外国人の増加に伴い、国では、訪日外国人観光客を令和2(2020)年時点で4,000万人、令和12(2030)年時点で6,000万人を目標とするなど、観光先進国をめざしていた。しかし、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた戦略に方針転換を行った。当市においても、西日本一の数を誇るゴルフ場や金物に代表されるモノづくりの文化をはじめとした、地域資源を体験するコンテンツ造成による受入体制の構築を、公民連携により実施した。

(1) 世界に三木市の魅力を発信

日本に興味のある350万人の外国人がフォローするFacebookページ「Japan OLD」を運営する株式会社DMoX(デモックス)との包括連携協定(平成29年12月締結)を活用し、三木市の魅力を世界に向けて発信した。

ア 発信内容

- (ア) 当市の地域資源であるゴルフ場や金物、酒米山田錦などの記事や写真、動画
- (イ) 三木の四季や食べ物などの記事や写真

イ 記事掲載 39 件(累計)

(2) ひょうご観光本部との連携事業

ア 訪日外国人の誘客に向けた取組

コロナ禍でインバウンド需要が無くなる中、アフターコロナを見据え、ひょうご観光本部、兵庫県北播磨県民局と連携し、体験コンテンツ造成事業を実施した。

イ ひょうご観光本部観光プロデューサーによる視察ツアー

- (ア) 開催日 令和2年10月23日
- (イ) 内 容 鍛冶体験・庖丁製造体験・酒蔵訪問試飲体験、古民家レストランでの文化体験、テロワール体験

ウ 在日外国人によるモニターツアー

- (ア) 第1回
 - a 開催日 令和2年11月19日
 - b 内 容 鍛冶体験・庖丁製造体験・酒蔵訪問試飲体験
- (イ) 第2回
 - a 開催日 令和2年11月20日
 - b 内 容 古民家レストランでの箸づくり体験、テロワール体験
- (ウ) 第3回
 - a 開催日 令和2年12月8日
 - b 内 容 藍染め体験

(3) 関西観光本部との連携事業

ア National Geographic 英国取材対応

令和2年10月2日酒米山田錦圃場撮影及び山田錦関係者に対する取材対応を行い、令和3年2月に「National Geographic-トラベラー誌-フード版」に掲載

イ 商品化

- (ア) 関西観光本部HPにて包丁研ぎ・鍛冶体験を紹介開始
- (イ) 地球の歩き方が運営するサイト Good Luck Trip プレミアム関西での販売

3 みきで愛（出会い）サポートセンター事業

少子化の主な要因の一つである「晩婚化」への対策として、結婚を希望する男女に出会いの場を提供する事業を「みきで愛（出会い）サポートセンター」に委託して実施した。

当センターの出会いサポート部会では、出会いサポーターが仲人役となり見合いを実施し、成婚へと導いた。

(1) サポートセンター実績

ア 理事会等

日時・場所	内 容 等	出席人数（人）
令和2年6月11日 新型コロナウイルス 感染拡大防止により 書面にて開催	第1回 理事会 1 協議事項 (1) 令和元年度事業実績報告について (2) 令和元年度収支決算報告について (3) 令和元年度事業計画（案）について (4) 令和2年度収支予算（案）について	理事 7 事務局 4 合計 11

イ サポートセンター登録者数（令和3年3月31日現在）

（単位：人）

	20代	30代	40代	50代	合計
男性	6	47	52	12	117
女性	13	47	28	2	90
合計	19	94	80	14	207

ウ 成婚カップル数 12組（通算 127組）

エ メールマガジン登録状況（令和3年3月31日現在）

（単位：人）

出生年代	登録数	性別	
		男性	女性
1990年代	49	19	30
1980年代	302	106	196
1970年代	181	98	83
1960年代	47	36	11
1950年代	6	5	1
合 計	585	264	321

オ 広報啓発

(7) 事業イベント案内

広報みき、エフエムみつきい、県サポートセンター、神戸新聞等

(i) センター独自ホームページ、チラシ掲示（公民館等の公共施設等）

(ii) マスコミ取材対応等

(2) 出会いサポート部会

ア 出会いサポーター登録状況（令和3年3月31日現在）

（男女別）

性別	人数（人）	率（％）
男性	7	31.8
女性	15	68.2
計	22	100.0

（年代別）

年代	人数（人）	率（％）
40代	1	4.5
50代	0	0.0
60代	6	27.3
70代	12	54.6
80代	3	13.6
計	22	100.0

イ 出会いサポーターによる出会いの導きで結婚成立 12組（通算 114組）

ウ 出会いサポーター活動状況（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

No.	内 容	件数（件）
1	出会いサポートセンター事業のPRを行った件数	1,233
2	現在、相談を受けている件数（R3.3月末時点）	766
3	相談者の見合う相手を探した件数	767
4	相手を見つけ紹介した件数	525
5	両者を引き合わせた（お見合いを設定した）件数	412

※出会いサポーターからの報告に基づく件数

エ 情報交換会 ※毎月第4金曜日開催

日時・場所	主な協議内容	出席人数（人）
令和2年6月26日 13:30～16:00 市役所大会議室	第1回 1 協議事項 (1) 新規相談者の担当者決定について (2) 令和2年度イベントについて 2 情報交換	サポーター 21 事務局 3 合計 24
令和2年7月17日 13:30～16:00 市役所大会議室	第2回 1 協議事項 (1) 新規相談者の担当者決定について (2) サポーターの減少について (3) コロナ禍での集合イベントについて 2 情報交換	サポーター 18 事務局 3 合計 21
令和2年8月28日 13:30～16:00 市役所大会議室	第3回 1 協議事項 (1) 新規相談者の担当者決定について (2) 新型コロナウイルス感染対策に係る今後の活動について 2 情報交換	サポーター 18 事務局 3 合計 21
令和2年9月25日 14:00～16:00 教育センター 大研修室	第4回 1 協議事項 (1) 相談者やサポーターの「報告」「連絡」「相談」について 2 情報交換	サポーター 18 事務局 3 合計 21
令和2年10月23日 13:30～16:00 市役所大会議室	第5回 1 協議事項 (1) 1月開催の縁結びひろば（日程、人数）について 2 情報交換	サポーター 17 事務局 2 合計 19
令和2年11月27日 13:30～16:00 市役所大会議室	第6回 1 協議事項 (1) 令和3年1月17日（日）開催の縁結びひろば（進行内容、役割分担）について 2 情報交換	サポーター 21 事務局 2 合計 23
令和2年12月18日 13:30～16:00 教育センター 大研修室	第7回 1 協議事項 (1) 令和3年1月17日（日）開催の縁結びひろば（出席者名簿等の確認、新型コロナウイルス感染の注意点）について 2 情報交換	サポーター 20 事務局 2 合計 22

令和3年1月22日 13:30～16:00 市役所大会議室	第8回 1 協議事項 (1) 令和3年1月17日(日)の縁結びひろば延期について (2) 次回の縁結びひろば開催予定について (3) 加西市のサポーター及び相談者との懇談会に参加しての感想報告 2 情報交換	サポーター 19 事務局 2 合計 21
令和3年2月26日 13:30～16:00 教育センター 大研修室	第9回 1 協議事項 (1) 新規相談者の担当者決定について (2) 4月開催の縁結びひろば(参加者の再確認)について 2 情報交換	サポーター 18 事務局 2 合計 20
令和3年3月26日 13:30～16:00 市役所大会議室	第10回 1 協議事項 (1) 4月25日開催の縁結びひろば(進行内容、役割分担、出席者名簿等)について 2 情報交換	サポーター 20 事務局 2 合計 22

オ 相談者(結婚希望者)受付件数 (単位:件)

区分	男性	女性	合計
サポートセンター受付	11	15	26
出会いサポーター受付	5	19	24
合計	16	34	50

カ サポーター企画(登録者を対象としたお見合いイベント)

日時・場所	内 容 等
令和3年1月17日 13:30～16:00 三木南交流センター 体育館	「みき縁結びひろば」 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため延期 1 内 容 回転お見合いやフリータイムを実施 2 参加予定者 男性41人 女性17人

キ 赤い糸プロジェクト

相談者自らが名簿を閲覧し、気になる相手にお見合いを申し込む。

(ア) 開設日時 毎月第2日曜日 10:00～16:00
平日 9:00～16:00

(イ) 開設場所 三木市立市民活動センター2階研修室1(毎月第2日曜日)
三木市役所縁結び課内(平日)※要予約

(ウ) 名簿閲覧受付状況 (単位:人)

区分	男性	女性	合計
第2日曜日受付	60	16	76
平日受付	18	19	37
合計	78	35	113

(3) 出会い交流(みきハート)部会 (三木商工会議所青年部等で組織する)

ア みきハート会員数 8人

イ みきハートによる出会いの場の創出での結婚成立 0組(通算13組)

ウ 三木ハート部会 新型コロナウイルス感染対策により開催なし

(4) 当センターに登録した、みきで(出会い)愛婚活応援団が主催する婚活イベントをPR

ア みきで愛婚活応援団登録数 4団体(令和3年3月31日現在)

イ みきで愛婚活応援団主催お見合いパーティー等

日時・場所	内 容 等
令和2年12月6日 13:00～16:00 三木南交流センター 体育館	クリスマスカップリングパーティー 1 主 催 者 Fairy Godmother 2 参 加 者 男性21人 女性21人 3 カップル成立 4組

4 定住促進事業

新たに市内に住宅を建築(取得)する際に課税される固定資産税と都市計画税の一部(土地は対象外)を助成し、若者世帯の転出を抑制するとともに、市内での定住を促進した。

地区別集計表

地区名	件数(件)	交付決定金額(円)
三木	174	14,366,000
三木南	18	1,257,000
別所	26	1,841,000
志染	6	378,000
細川	3	190,000
口吉川	3	211,000
緑が丘	104	8,679,000
自由が丘	103	8,540,000
青山	30	2,602,000
吉川	13	751,000
合 計	480	38,815,000

5 結婚新生活支援事業

若者が婚姻に伴い必要となる新生活に要する費用(物件取得費、家賃、引っ越し費用等)の一部を支援することで、市内への定住及び転入を促進した。

- (1) 件数 13件
- (2) 金額 3,060,000円

6 UIJターン住宅取得支援事業

Uターン又はI・Jターンにより転入する若年世帯が、市内に住宅を新築し、又は新築物件若しくは中古物件を購入する場合に、その取得費用の一部を支援することで、市外からの若年世帯の転入を促進し、市内人口の減少及び、少子高齢化の抑制を図った。

地区別集計表

地区名	件数(件)	交付決定金額(円)
三木	8	1,800,000
三木南	0	0
別所	1	250,000
志染	0	0
細川	0	0
口吉川	1	200,000
緑が丘	6	1,500,000
自由が丘	8	2,000,000
青山	7	1,650,000
吉川	0	0
合 計	31	7,400,000

7 ふるさと納税

ふるさと納税を推進し収入の確保を図るとともに、寄附者へお礼の品として特産品等を贈呈することで、三木の魅力を全国にPRした。

令和2年度は、百貨店のブランドイメージを生かし、特産品の更なるブランド化を図るとともに市の魅力を発信するため、高島屋及び三越伊勢丹のポータルサイトを導入した。

受領した寄附金は、「こころのふるさと三木応援基金」に積み立てた。

(1) 寄附件数及び金額

ア 件数	17,792 件
イ 金額	496,262,000 円

(2) 返礼品（直営サイト分）

ア 協賛事業者数	138 社
イ 返礼品数	529 品目